



発行年月日 2025年6月30日

発行者 日本作業科学研究会 アーカイブ担当

第29号は、2024年度(2024年7月1日~2025年6月30日)に開催された、学術大会、3役会、理事会の記録のまとめとなります。

日本作業科学研究会第27回学術大会 2024年度 三役会

<テーマ>

作業と社会変革

Occupation and Social Transformation

会期: 2024年9月7日(土)~8日(日)

場所: 文京学院大学ふじみ野キャンパス

(一部オンデマンド配信)

大会長: 西方 浩一(文京学院大学)

参加登録期間: 2024年4月1日~8月30日

演題登録期間: 2024年4月1日~6月14日

内容

<プレセミナー>

第1回: テーマ「作業とは?」

日時: 2024年6月18日(火)

第2回: テーマ「社会とは?」

日時: 2024年7月11日(木)

第3回: テーマ「社会変革と作業科学」

日時: 2024年8月19日(月)

<1日目>

・基調講演『Fostering Social Transformation with a Pragmatic Imagination 現実的発想をもとにした社会変革の育み』

講師: Ryan Lavalley(ノースカロライナ大学チャペルヒル校)

・ワークショップ『みんなで創るダイアログカフェ』

<2日目>

・佐藤剛記念講演『作業の文脈をデザインする: 共創と参加型研究によるエンパワーメントと社会変革』

講師: 高島理沙(北海道大学)

・体験型ワークショップ『やってみて・みて・きいて・話して・考える~社会を変える作業の力を考えるワークショップ』

臨時三役会

<日時>2024年6月15日

<形式>Zoom

<出席者>山根, 西方, 齋藤, 中塚

【報告・確認事項】

1. HP上の理事選挙結果の告示方法
 - ・無投票当選の場合、選挙運動用の選挙公報は発行しない
 - ・着任後の抱負と結果の公示(選挙管理委員長作成)を研究会HPに掲載

第1回

<日時>2024年11月25日

<形式>Zoom

<出席者>山根, 坂上, 渡辺, 中塚, 西方

【審議事項】

1. 研修会インボイス制度
 - ・学術大会や研修会開催にあたり、参加費は内税価格で徴収
2. 実践研修会の予算
 - ・体制変更につき、補正予算を検討
3. 韓国OSとのMOU
 - ・学術大会の参加を中心に交流機会について検討
4. 事務局の体制
 - ・各研修会が同時に動いている場合の入金確認が煩雑になるため、年間予定を組むことを検討
 - ・研究会の活動が増えてきたため、事務局作業について委託を検討
 - ・会費や研修会参加費の入金方法について、Peatix等の外部ソース利用を検討
5. 第29回学術大会
 - ・2026年度第29回学術大会開催場所、大会長選出
6. 理事会日程について
 - ・2025年1月下旬~2月初旬で調整

・2025年度総会：8月2日（土）または3（日）を予定

第2回

<日時>2025年4月18日

<形式>Zoom

<出席者>山根, 坂上, 渡辺, 中塚, 西方

【審議事項】

1. 研修会インボイス制度
 - ・本研究会は免税事業者であることを前提に, 学会・研修会参加者向けのアナウンスを検討
2. 名誉会員制度
 - ・条件
 - 1) 会員歴があること (15年以上)
 - 2) 本研究会の理事等を経験していること
 - 3) 本研究会の設立や発展に顕著な功労があると認められること
 - ・理事会で審議, 総会で承認, 承認後に該当者へ報告
 - ・名誉会員は会費免除, 研究会HPにコメント等を記載
 - ・原則, 退職者が対象
 - ・現時点の候補者は6名
3. 会費徴収
 - ・滞納者の会費徴収について検討
4. 事務局体制
 - ・研修等, 参加費聴取方法について会費ペイの利用を検討
 - ・予算, 中間, 決算作成について事務局指定フォームで決算金額を入力後, 理事会で相談・報告する
5. 学術大会と学会名称について
 - ・学術大会: 2027年は愛知(名古屋)打診, 内諾済
 - ・学会名称: 日本作業科学学会へ2026年度学術大会より学会名称変更予定
6. 理事会日程について
 - ・2025年5月22日(木) 20:00~

2024年度 理事会

第1回

<日程>8月3日(土)

<形式>Zoom

<参加者>山根, 坂上, 中塚, 渡辺, 西方, 伊藤, 今井, 大下, 大谷, 高木, 高島, 安田

【報告・確認事項】

1. 役割分担について
 - 会長: 山根
 - 副会長: 中塚, 坂上, 渡辺

○事務局: 西方, 渡辺

○学術部

機関誌編集委員会: 今井, 高木

研究推進: 中塚, 高島, 清田

○教育部

基礎研修: 大谷, 渡辺, 安田

実践研修: 伊藤, 山根

○広報・ネットワーク部

ホームページ・SNS: 大谷, 山根, 大下, 安田

ニュース: 大下, 安田

国際交流: 高木, 高島

OSカフェ: 中塚

○特設部

学会サポート: 清田

2. 事業について

各部で変更等あれば情報共有する

3. 新理事の抱負

HPで公開する(担当: 大谷)

4. 委嘱状

委員一覧のシートを情報共有

準備を進めていく(担当: 渡辺)

5. 研究会のデータ

Google Driveで共有

6. 理事会および三役会の開催日

理事会: 2024年12月頃

三役会: 2024年11月25日(月) 20:00~

第2回

<日程>2025年2月6日(木)

<形式>Zoom

<参加者>山根, 坂上, 中塚, 西方, 伊藤, 今井, 大下, 大谷, 高木, 高島, 安田, 清田, 西野, 若井

【報告・確認事項】

1. 機関誌編集委員会
 - ・第18巻(下半期分)の発行
 - 12月末に発行
 - 内訳: 学術大会講演録1本, 実践報告3本, 資料2本, 書評4本
 - ・第19巻(上半期分)の発行準備
 - 6月末に発行予定
 - 内訳: 学術大会講演録2本
 - ・新規論文査読
 - 内訳: 原著論文2本
 - ・アクセス状況分析
 - 年間アクセス総数: 26096回
 - 前年比: 130% 年々増加
2. 研究推進担当
 - ・研修①2024年11月30日「質的研究法」(講師: 小田原)
 - 参加者5名(会員0, 非会員5)
 - ・(予定)研修②「作業科学研究を進める」(話題提供: 高木)

3. 基礎入門研修担当
 - ・研修①2024年8月7日
第1回作業科学基礎入門研修会（オンライン）
担当：西方，渡辺（慎），大谷，安田，渡辺（潤），池田，齊藤
参加者：44名
 - ・研修②2025年3月27日
第2回作業科学基礎入門研修会（オンライン）
担当：渡辺（慎），大谷，安田，池田，齊藤，吉田
参加者：51名
 4. 実践研修担当
 - 「作業と健康の関係を人に説明できるようになるう」（担当：齋藤，港）→非実施
 5. ホームページ・SNS担当
 - ・研究会HPの管理・運営
 - ・研修会，学術集会等の案内の掲載
 - ・IT管理者の雇用契約
 - ・他部署の活動に連携したHPへの情報掲載
 - ・SNSを用いた研究会活動の情報の発信
 6. ニュース担当
 - ・「作ら，さくら」：2024年6月30日発行分を研究会HPに掲載済
1年に1回，6月末に発行予定
 7. 国際交流担当
 - ・JOS29巻の書評掲載
 - ・JOS30巻の要旨翻訳
 - ・KAOSとのMOU更新
 8. OSカフェ担当
 - ・5回開催（8，12月は休み）
7/26：社会変革と作業
9/27：第27回学術大会から話したいことを話しましょう
10/25：OTクライアントの経験から
11/22：アジアOSワークショップから
1/24：作業レンズでPERFECT DAYSをみる
 9. 第28回学術大会
 - ・開催場所：東京都立大学荒川キャンパス
 - ・期日：2025年9月6，7日
 - ・テーマ：「作業バランスの再考」
- 候補者が選定できれば大会長より理事メールで共有予定
3. 第30回学術大会について
 - ・学会長候補者に打診予定
 4. MOUに基づいた今後の交流の検討
 - ・第28回学術大会の日程と場所については先方に連絡済
 - ・今後国際班からの案内を予定：
招待状として送る
先方に伝える内容（参加費は免除，通訳はこちらで準備なし，交通費は先方持ち）
一参加者としての参加か，ワークショップ等プログラムに配慮が必要か検討
→プログラム内容について配慮することは可能だが，現時点ではまだ未調整
 5. 研究会の名称変更について
 - ・「研究会」から「学会」への変更を検討
研究会よりも学会の方が会員数も増えるのはいか
 - ・候補：「日本作業科学会」「日本作業科学学会」
 - ・三役会で英語名はこのままでも良さそうという意見あり
 - ・会則や通帳等の変更，日本学術会議への変更申請も必要か
→変更の際に必要となる事項を再確認
 6. 役員選挙の総会での扱いについて
 - ・議題または報告事項としての提示の仕方の検討
→現時点では変更せず様子を見る
 7. 名誉会員制度の検討
 - ・名誉会員制度を進める
→詳細は三役会で検討
 8. インボイス制度について
 - ・学術大会後，大学教員より参加費が内税・外税かの問い合わせあり
 - ・本研究会はインボイス制度に則っていない
→今後，APOTCを参考に会員非会員関係なく研究会の研修・学術大会参加費は税込価格と明記することを検討
 9. 事務局業務の委託の検討
 - ・参加費入金確認のための工夫（Peatix等の導入）
 - ・現状の問題点：研修会の時期が重なると，参加者・金銭管理業務が煩雑となる（入金ほどの研修会に該当するか，申込者は会員/非会員か等の分かりにくさあり）
 - ・Peatix：入金確認が明確となり参加者管理の負担は軽減するが，アカウント管理にて課題あり
各研修会用のアカウントを作る等の対応も検討
手数料がかかるため，その分を上乗せして研修会費に反映する運営者もいる
参加者は，カード払いは手数料無料，コンビニ払いは手数料必要
→試しながら使い勝手を確認し，問題なければ全体に移行していく

【審議事項】

1. 2025年度事業・予算案確認
 - ・実践研修班
今年度から補正予算立て
→全体で了承済
2. 第29回学術大会
 - ・佐藤剛記念講演
演者の選出に関する検討事項：会員であるかどうか，会員の期間，長年作業科学の分野に貢献してきたか
その他：他の講演（特別講演等）との差別化，毎回の必要性
→過去のリストを確認して検討

10. 総会日程

オンラインにて8月2日(土)または3日(日)で検討

11. 理事会日程

次回開催日は調整のメール送付予定
例年に倣って総会前の5月頃を予定

第3回

<日程>2025年5月22日(木)

<形式>Zoom

<参加者>山根, 中塚, 西方, 伊藤, 今井, 大下, 大谷, 清田, 高木, 安田, 渡辺

【報告・確認事項】

1. 第28回学術大会

- ・講演者決定
- ・プレワークショップを3回実施予定
- ・5月末まで演題募集期間
SNSで広報していく

2. 第29回学術大会

- ・日程: 2026年9月で候補日あり
- ・場所: 札幌医科大学
- ・テーマ: 日常の知と科学の知との対話
- ・実行委員:

大会長: 高島理沙(北海道大学)
副大会長: 坂上真理(札幌医科大学)
実行委員長: 土谷沙織(新札幌脳神経外科病院, 札幌医科大学)
副実行委員長: 森元彩子(北海道総合在宅ケア事業団 札幌北訪問看護ステーション)

3. 第30回学術大会

名古屋で開催予定

【審議事項】

1. 研究会の名称変更

- ・日本作業科学研究会→日本作業科学学会
他学会の名称等も検討した上で, 作業科学の学会であることを強調する名称
- ・変更にあたって研究者の比率は問題なし
→名称変更に関して次回総会で提示
→札幌大会から名称変更

2. 名誉会員制度について

- ・名誉会員要件
 1. 会員歴があること(15年以上)
 2. 本研究会の理事等を経験していること
 3. 本研究会の設立や発展に顕著な功労があると認められること
- ・承認の流れ: 理事会で審議して総会で承認→承認後に本人に報告→研究会ホームページにコメント等を掲載
- ・原則, 退職された方が対象, 会費免除
- ・Ruth Zemke氏を推薦

3. インボイス制度について

- ・本研究会が免税事業者である
- ・学会参加者向けのアナウンス方法
「参加費として上記正に領収いたしました。日本作業科学研究は免税事業者です。インボイス番号はございません。」と考えられる

4. 事務局業務の検討

- ・会費ペイ(代行事業者)
年会費, 名簿管理, 会費決済手段が多様. 3.5%の手数料(200人規模で4万円弱の負担)が必要. 問い合わせ窓口への相談は現事務局が対応. 会員が問い合わせ窓口と直に連絡可能

5. 会費徴収について

- ・会員から提案事項
滞納した人たちの支払いについて, ある一定の期日を過ぎた際は遡っての支払いは免除し, 当該年度の会費として徴収するのはどうか(退会防止を目的, 入会金をとっていない現状あり)
例: 2023年度支払い無し, 2024年度の2月に会費支払いすると, 本来なら2023年度分の会費として受領を2024年度の会費として受領する
→不公平感もあるため却下
→会費未納が数年続く場合, 強制退会の検討も必要. 未納期間は2年間が妥当か今後検討

6. 総会日程・準備

- ・オンラインにて8月2日(土)20:00から開催
- ・準備: Excelシートに入力後, 資料整理, 作成, 7月4日(金)までに各担当が入力
会員に資料送付, 申込(委任状等)案内, 出欠管理
→7月27日出欠, 委任状〆切

7. その他

- ・基礎入門研修の参加者属性データを参考に今後の広報や研修内容を検討
- ・決算報告に関する説明(担当: 西方)

以上

—2025 年度 研修会等開催予定—

- ・作業科学研究推進のための研修会
- ・基礎入門研修会
- ・実践研修会
- ・OS カフェ

開催の詳細は、
研究会 HP や研究会 SNS、
各都道府県士会 HP をご確認ください

最新のニュース等は
研究会公式 SNS で発信しています！
フォロー、友達登録をよろしくお願いします

公式 X (旧 Twitter)

公式 Facebook



予告

日本作業科学研究会 第 28 回学術大会

- 〈テーマ〉 作業バランスの再考
〈日時〉 2025 年 9 月 6 日(土)~7 日(日)
〈場所〉 東京都立大学 荒川キャンパス
〈大会長〉 清田 直樹
〈副大会長〉ボンジェ・ペイター

大会公式ホームページにて
最新情報更新中！



URL: <https://osgakkai-tokyo2025.com/>

✿----- 編集後記 -----✿

今年の 9 月に「日本作業科学研究会 第 28 回学術大会」が開催されます。みなさまはこの学術大会が以前どんな名称だったかご存知でしょうか？2019 年の第 23 回までは「作業科学セミナー」という呼称を採用していました。私自身、当時の総会で呼称の変更の話題が挙がったことを覚えています。

今号の「作ら、さくら」では、本研究会の名称変更の議論が進められていることが取り上げられています。数年後には「前は研究会だった」という話をするようになるかもしれません。(編集者 O)

早いもので、研究会の年度終わりが近づき、前回の「作ら、さくら」発行から 1 年が経とうとしています。編集を通して 1 年を振り返っていると、研究会全体や各部の取り組みが世の中の動きに伴い変化していることを実感します。世の中の変化がどんどん早くなる昨今、それに見合う対応が求められる一方で、伝統や文化等を背景に譲ることのできないものがあるのもまた事実。様々な状況に揉まれながらも研究会らしさをもちつつ、進化していく研究会であり続けたいです。(編集者 Y)